

保護者のみなさま、「くまのっ子うちどくノート」ができました



4月23日、子ども読書の日から

「うちどく」を始めます！



「うちどく」って何するの？

- 1 週2回、15分、子どもと家族のだれかが、同じ本を読みます。
- 2 読んだら、「うちどくノート」に記入します。
- 3 10週に1回、先生に見せて、ハイタッチしてもらいます。

1年間続けてノートがいっぱいになると、素敵なおほうびがあります！

- * 読んでいる間、テレビ・ケータイ電話・ゲーム・インターネットなどは、つけません。
- * いっしょに読む家族は、大きい兄さん姉さん、祖父母さん、だれでもOKです。
- * 小さい子や低学年も、家族のおひざにだっこで読んでもらいましょう。
- * 「うちどく」の本は、マンガ・雑誌以外何でもOK。「あさどく」の本選びと同じです。
- * 高学年や中学生にも、絵本はおすすめてです。家族と読むと楽しいですよ！

4月23日、国で定めた「子ども読書の日」から、熊野町では0歳から中学3年までの子どもとご家族を対象に、「くまのっ子のうちどく」を始めます。やり方は、お届けした「うちどくノート」をごらんください。

「うちどく」をすると、良いことがいっぱいです。ご家族で続けて、素敵なおほうびも手にしてください。

- (1) 家での会話がはずみ、コミュニケーションが深まります。
- (2) 先生や家族にハイタッチしてもらって子どもは満足し、自信がつきます。
- (3) テレビやネット、ゲームのない静かな時間をもつことができます。
- (4) 本や絵本は、子どもだけでなく家族にも良いものを与えてくれます。他人を思いやる気持ち、苦しさに立ち向かう勇気、新しい知識やワクワクする楽しさが、心の安定や豊かさを生み出します。
- (5) 子どもの言葉の力、考える力が伸び、ひいては学力にもつながります！

(お問い合わせ：教育委員会 生涯学習課 820-5621)

「くまのっ子のうちどく」は、小・中学校、幼稚園・保育園をはじめ、

公民館、図書館など、町全体で応援しています！